

第3章

大 氣 環 境

第3章 大気環境

大気が、いろいろな物質により汚染されていくと、人が健康で快適な生活をしていく環境を維持していくことが困難になります。我が国では、昭和30年代の高度経済成長期に工場・事業場によるエネルギーの大量消費に伴い、大気の汚染が深刻となりました。そこで国及び各自治体では大気汚染防止法等により工場・事業場の規制を行い、大気環境の汚染防止に努めてきました。しかし、近年では身近な生活環境のみならず、オゾン層破壊・地球温暖化など地球規模の大気汚染が問題となっています。

第1節 大気汚染の現況

市内の大気汚染状況の把握及び監視をするために、庁舎屋上(中央局)での常時監視調査と、広域的な調査として大気環境調査を3定点(倉治小学校、総合体育施設、東倉治3丁目)・年4回(1回あたり1週間サンプリング)及び窒素酸化物濃度簡易調査を14地点・毎月1回(1回あたり1週間サンプリング)実施しました。また、第二京阪道路沿道の2地点(青山局、天野が原局)においても常時監視調査を実施しました。

平成30年度の状況は、二酸化窒素・浮遊粒子状物質・微小粒子状物質・硫黄酸化物・ダイオキシン類については環境基準を達成していましたが、光化学オキシダントについては環境基準を達成できませんでした。また、経年推移では全体的にほぼ横ばい又は減少傾向にあります。

1. 二酸化窒素

窒素酸化物は物が燃焼する際に発生します。主な発生源は、工場・事業場のボイラー、自動車、家庭用暖房機など広範囲にわたります。二酸化窒素には、環境基準が設定されています。

二酸化窒素については、常時監視の結果(資料 大-1,3,5)から日平均値の98%値が、中央局では0.024ppm、青山局では0.029ppm、天野が原局では0.025ppmであり環境基準を達成していました。各局の月平均値をみると、4月の濃度と、11月から3月にかけての濃度が高くなっています(図3-1)。これは暖房機の使用や大気の逆転現象によると考えられます。大阪府全体では、年平均値が0.013ppmでした(図3-2)。

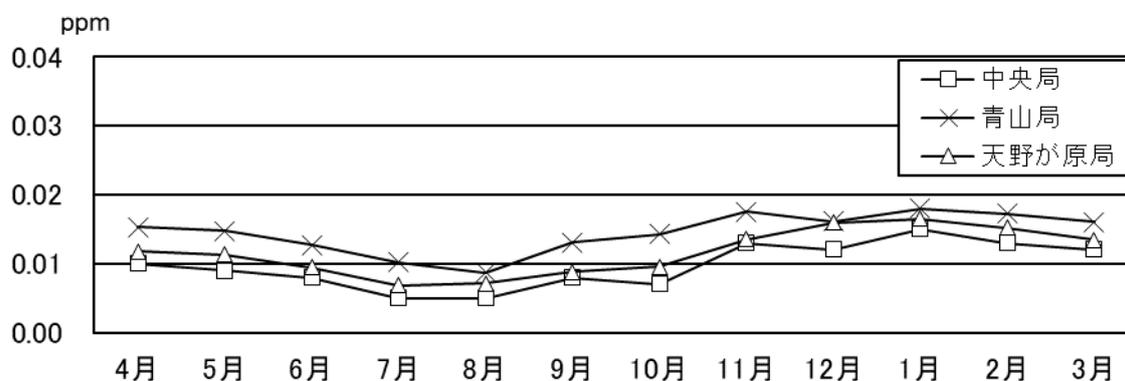


図3-1 二酸化窒素濃度の月平均値

表3-1 中央局 二酸化窒素濃度(経年推移)

単位:ppm

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
日平均値の年間98%値	0.031	0.032	0.029	0.031	0.031	0.027	0.027	0.027	0.028	0.024
年平均値	0.014	0.015	0.015	0.015	0.014	0.013	0.012	0.011	0.012	0.010

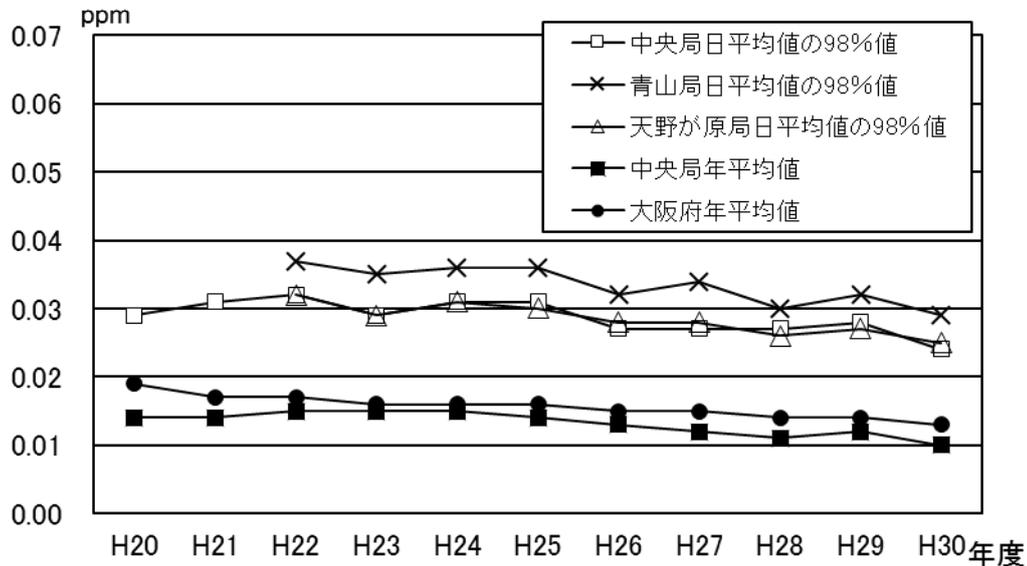


図3-2 二酸化窒素濃度(経年推移)

大気環境調査結果(資料 大-13)において、全期間の二酸化窒素の日平均値の最高値は、倉治小学校で0.024ppm(12、2月)、総合体育施設で0.025ppm(2月)、東倉治で0.021ppm(2月)、であり、いずれも環境基準値を超える日はありませんでした。

窒素酸化物濃度簡易調査結果(資料 大-17)において、二酸化窒素濃度(年平均値)が最も高かったのはNo.12(星田北)の0.014ppm、最も低かったのはNo.7(私市山手自治会館)、No.9(森区民ホール)、No.13(妙見東中央公園)の0.006ppmでした。全ての地点で境基準値を超える数値はありませんでした。

2. 光化学オキシダント

光化学オキシダントは、大気中の窒素酸化物や非メタン炭化水素等が紫外線を受け、光化学反応を起こし生成される酸化性物質の総称で、生成には日射量・気温・風速等の気象条件の影響を受けます。

光化学オキシダント濃度が一定の濃度を超え、なおかつ気象条件からその状態が継続すると考えられる際に、府の発令基準(表3-2)に基づき、光化学スモッグ予報・注意報が発令されます。大阪府光化学スモッグ対策連絡本部が、本市を含む東大阪地域に発令した光化学スモッグの緊急時等の発令回数は、予報が5回、注意報が4回でした。

常時監視測定結果(資料 大-7)では、1年間に昼間1時間の基準値(0.06ppm)を超えた日数は86日あり、月別では5月が最も多く16日、122時間ありました。昼間1時間値の年平均値の経年推移(図3-3)では、ほぼ横ばいで推移しています。

表3-2 オキシダント緊急時等発令基準

発 令 基 準	
予 報	当該地域の測定点のうち1点以上のオキシダント濃度が0.08ppm以上である大気の状態になった場合で、かつ、気象条件からみて注意報の発令に至ると認めるとき。
注意報	当該地域の測定点のうち1点以上のオキシダント濃度が0.12ppm以上である大気の状態になった場合で、かつ、気象条件からみて当該大気の状態が継続すると認めるとき。
警 報	当該地域の測定点のうち1点以上のオキシダント濃度が0.24ppm以上である大気の状態になった場合で、かつ、気象条件からみて当該大気の状態が継続すると認めるとき。
重大緊急警報	当該地域の測定点のうち1点以上のオキシダント濃度が0.40ppm以上である大気の状態になった場合で、かつ、気象条件からみて当該大気の状態が継続すると認めるとき。

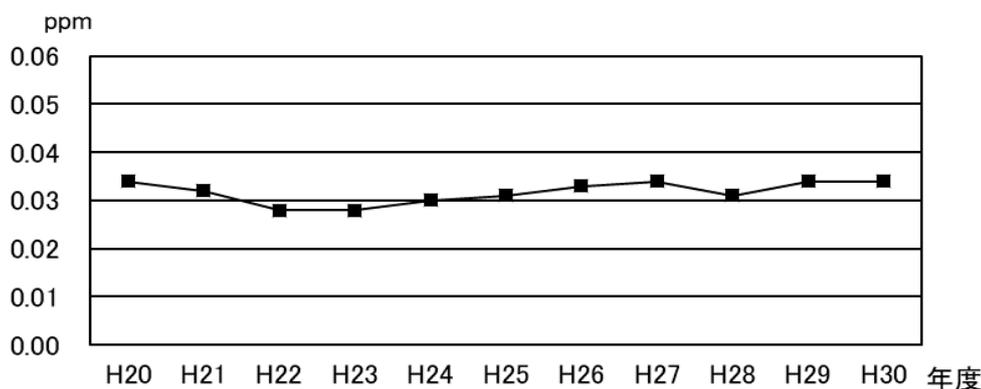


図3-3 光化学オキシダント濃度昼間年平均値 (経年推移・中央局)

3. 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質は、大気中に浮遊する $10\mu\text{m}$ ($1\mu\text{m}$ は1000分の1mm)以下の粒子状の物質であり、発生源としては工場・事業場・自動車等の人為的なものと、土壌や海塩の粒子といった自然的なものがあります。

常時監視結果(資料 大-8~10)は、年間値(日平均値の2%除外値)が中央局で $0.033\text{mg}/\text{m}^3$ 、青山局で $0.037\text{mg}/\text{m}^3$ 、天野が原局で $0.043\text{mg}/\text{m}^3$ であり、また、各局とも日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日がなく、長期的評価の基準を達成していました。また、中央局における経年推移では、ほぼ横ばいの状態で推移しています(図3-4)。

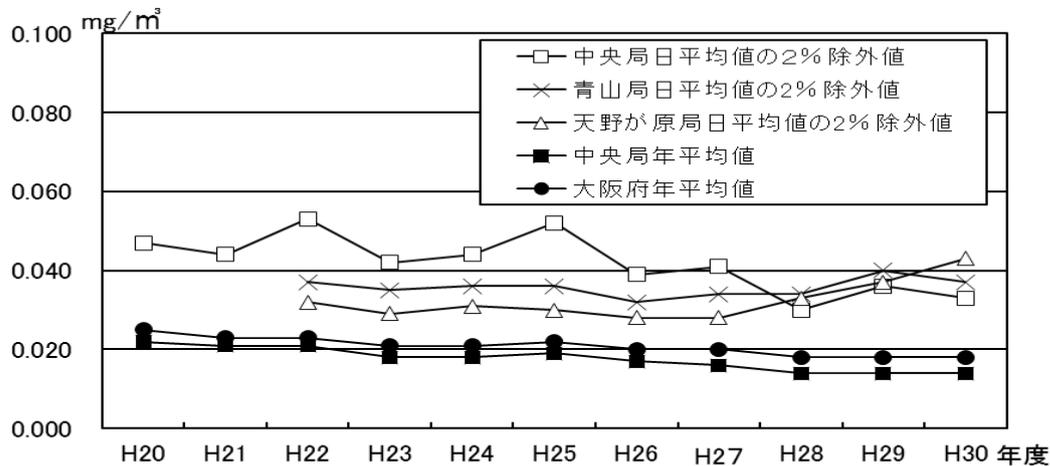


図3-4 浮遊粒子状物質濃度(経年推移)

大気環境調査結果(資料 大-15)では、全期間の日平均値の最高値が倉治小学校で0.028mg/m³(2月)、総合体育施設で0.029mg/m³(2月)、東倉治で0.027mg/m³(2月)となり、1時間値の最高値が、0.037mg/m³(2月)、0.049mg/m³(9月)、0.048mg/m³(9月)で、環境基準の「1時間値の1日平均値が0.1mg/m³以下であり、かつ1時間値が0.2mg/m³以下であること」(短期的評価)に適合していました。

4. 微小粒子状物質

微小粒子状物質は、大気中に浮遊する粒径2.5μm以下の粒子のことをいい、PM2.5ともいわれています。発生源としては、ボイラーなどのばい煙を発生する施設、自動車などの人為的由来のもののほか、土壌や黄砂など自然由来のものがあります。

常時監視結果(資料 大-11)は、年平均値が11.3μg/m³、日平均値の98%値が26.9μg/m³となり、環境基準の長期的評、短期的評価とも達成していました。また、経年推移(図3-5)では、おおむね横ばいで推移しています。

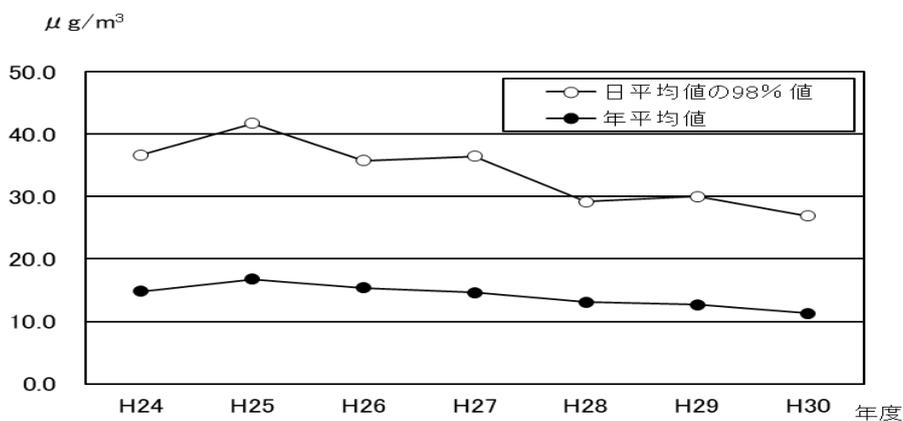


図3-5 微小粒子状物質濃度(経年推移・天野が原局)

5. 二酸化硫黄

二酸化硫黄は、石油・石炭等の化石燃料が燃焼することで発生する汚染物質で、昭和40年代の公害の主役でありましたが、燃料の低硫黄化や脱硫装置等の対策により、近年では大幅にその状況が改善されました。常時監視結果(資料 大-12)から、日平均値の2%除外値(長期的評価)が0.007ppmであり、1時間値の1日平均値が0.04ppmを超えて観測した日及び1時間値が0.1ppmを超えた時間帯はなく環境基準を達成していました。

経年推移では、ほぼ横ばいの状態を示しています(図3-6)。

なお、二酸化硫黄は測定を開始した平成7年度以降環境基準を大きく下回る水準で推移していたことから平成30年度を以って測定を終了しました。

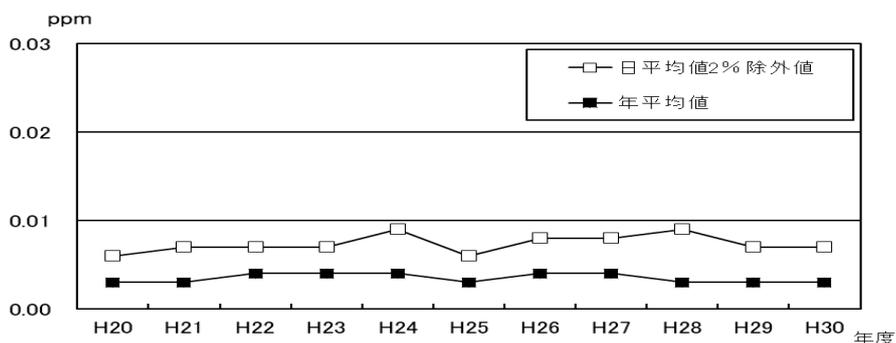


図3-6 二酸化硫黄濃度(経年推移・中央局)

第2節 大気汚染の対策

1. 工場・事業場への規制

大気汚染の原因物質を排出する施設に対しては、「大気汚染防止法」及び「大阪府生活環境の保全等に関する条例」により規制がかかります。法律では、ばい煙(ばいじん、硫黄酸化物、有害物質)・粉じん(一般粉じん、特定粉じん)に関する対象施設に規制(排出基準、構造・使用・管理基準など)がかかります。更に大規模工場には窒素酸化物及び硫黄酸化物の総量規制がかけられます。また、同法には有害大気汚染物質対策の推進についても規定しています。

府条例では、法律の規制がかかる以外(規模または種類)の施設に対して、ばい煙(ばいじん、有害物質、揮発性有機化合物)・粉じん(一般粉じん・特定粉じん)に関しての規制(排出基準、設備・構造基準など)がかかります。特に窒素酸化物については、総量削減指導要綱などにに基づき燃料の改良化等により、排出削減の指導を行っています。

2. 自動車排ガス対策

自動車からの排気ガス対策の考え方としては、大きく分けると発生源対策・交通量抑制・交通流円滑対策・局地汚染対策の4つからなっています。「大気汚染防止法」(昭和43年6月制定)では、自動車排ガス量の許容限度を定め排気ガスの規制が実施されています。また、同法では大気汚染状況の常時監視を規定し、一定基準を超える場合には、交通規制の要請や道路構造の改善に努めることとしています。更に大都市圏等では、特に二酸化窒素や粒子状物質の環境基準が未達成の状況であるため、国においては「自動車から排出される窒素酸化物の指定地域における総量の削減等に関する特別措置法」(自動車NO_x法)を平成4年6月に施行し、平成13年6月には同法を改正した「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減に関する特別措置法」(自動車NO_x・PM法)が施行され、対象物質に浮遊粒子状物質を追加するとともに、自動車を使用する事業者への措置の導入の強化が図られています。

大阪府では、同法に基づき「大阪府自動車NO_x・PM総量削減計画」(平成15年7月)を策定し、天然ガス車や電気自動車などの低公害車・低排出ガス車の普及促進、自動車走行量の抑制、輸送効率を改善した物流対策等の諸施策等を推進しています。

自動車の集中により、環境基準の達成の確保が困難である対策地域において、自動車NO_x・PM法の排出基準を満たさないトラック・バス等の対策地域(府域内)を発着地とする運行を規制することとし、平成19年10月25日府条例の改正がなされ、平成21年1月1日より規制が開始されています。

大阪府下における二酸化窒素の現状は、一般環境大気測定局(66局)及び自動車排出ガス測定局(35局)の全ての測定局で環境保全目標を達成しました。一般環境大気測定局では16年連続、自動車排出ガス測定局では平成22年度より9年連続で達成となります。

区分		二酸化窒素 NO ₂													
		有効測定 日数	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値 の最高値	1時間値が0.2ppmを 超えた時間数と割合	1時間値が0.1ppm以 上0.2ppm以下の時間 数と割合	日平均値が 0.06ppmを超えた 日数と割合	日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下の 日数と割合	日平均値の98%値				
年月	日	時間	ppm	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%	ppm	
2018	4	30	714	0.010	0.036	0.020	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	5	31	734	0.009	0.037	0.019	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	6	28	684	0.008	0.029	0.019	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	7	31	737	0.005	0.027	0.013	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	8	31	738	0.005	0.022	0.016	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	9	30	710	0.008	0.029	0.017	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	10	31	738	0.007	0.030	0.013	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	11	30	713	0.013	0.039	0.029	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	12	31	732	0.012	0.050	0.030	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0		
	2019	1	31	737	0.015	0.049	0.031	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	
		2	28	665	0.013	0.046	0.025	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	
		3	30	732	0.012	0.048	0.019	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	
年間		362	8634	0.010	0.050	0.031	0	0	0	0	0	0	0.0	0.024	

区分		一酸化窒素 NO						窒素酸化物 NOx						
		有効測定 日数	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値 の最高値	日平均値の 98%値	有効測定 日数	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値の 最高値	日平均値の98%値	
年月	日	時間	ppm	ppm	ppm	ppm	日	時間	ppm	ppm	ppm	ppm		
2018	4	30	714	0.001	0.032	0.004		30	714	0.011	0.064	0.023		
	5	31	734	0.001	0.020	0.005		31	734	0.010	0.049	0.023		
	6	28	684	0.001	0.011	0.003		28	684	0.009	0.039	0.022		
	7	31	737	0.001	0.017	0.005		31	737	0.007	0.029	0.017		
	8	31	738	0.001	0.013	0.003		31	738	0.006	0.026	0.018		
	9	30	710	0.001	0.020	0.004		30	710	0.009	0.038	0.018		
	10	31	738	0.002	0.017	0.006		31	738	0.009	0.036	0.017		
	11	30	713	0.003	0.046	0.013		30	713	0.016	0.076	0.038		
	12	31	732	0.004	0.064	0.027		31	732	0.017	0.105	0.057		
	2019	1	31	737	0.005	0.087	0.014		31	737	0.020	0.126	0.046	
		2	28	665	0.003	0.054	0.012		28	665	0.016	0.084	0.034	
		3	30	732	0.001	0.035	0.005		30	732	0.013	0.064	0.023	
年間		362	8634	0.002	0.087	0.027	0.011	362	8634	0.012	0.126	0.057	0.034	

二酸化窒素 NO ₂													
区分 年月	有効測定 日数	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値 の最高値	1時間値が0.2ppmを 超えた時間数と割合	1時間値が0.1ppm以 上0.2ppm以下の時間 数と割合	日平均値が 0.06ppmを超えた 日数と割合	日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下の 日数と割合	ppm			
	日	時間	ppm	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%
2018	4	29	707	0.015	0.047	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	5	31	734	0.015	0.043	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	6	30	712	0.013	0.044	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	7	31	735	0.010	0.038	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	8	31	734	0.009	0.036	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	9	30	711	0.013	0.038	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	10	31	734	0.014	0.043	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	11	30	710	0.018	0.050	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	12	31	736	0.016	0.060	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2019	1	31	735	0.018	0.048	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2	28	664	0.017	0.048	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	3	31	735	0.016	0.050	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
年間		364	8647	0.014	0.060	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

一酸化窒素 NO												
区分 年月	有効測定 日数	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値 の最高値	日平均値の 98%値	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値の 最高値	ppm	
	日	時間	ppm	ppm	ppm	ppm	時間	ppm	時間	ppm	時間	ppm
2018	4	29	707	0.004	0.073	0.015	707	0.020	0.107	0.041		
	5	31	734	0.003	0.044	0.008	31	0.018	0.079	0.032		
	6	30	712	0.003	0.029	0.010	30	0.016	0.071	0.035		
	7	31	735	0.004	0.049	0.011	31	0.015	0.078	0.027		
	8	31	734	0.004	0.038	0.011	31	0.013	0.054	0.032		
	9	30	711	0.004	0.037	0.010	30	0.017	0.062	0.029		
	10	31	734	0.005	0.066	0.011	31	0.019	0.105	0.032		
	11	30	710	0.010	0.074	0.028	30	0.027	0.102	0.055		
	12	31	736	0.010	0.095	0.046	31	0.027	0.134	0.085		
2019	1	31	735	0.011	0.104	0.028	31	0.029	0.141	0.060		
	2	28	664	0.008	0.125	0.028	28	0.025	0.167	0.048		
	3	31	735	0.006	0.083	0.015	31	0.022	0.111	0.042		
年間		364	8647	0.006	0.125	0.046	364	0.021	0.167	0.085		

二酸化窒素 NO ₂														
区分	年月	有効測定 日数	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値 の最高値	1時間値が0.2ppmを 超えた時間数と割合	1時間値が0.1ppm以 上0.2ppm以下の時間 数と割合	日平均値が 0.06ppmを超えた 日数と割合	日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下の 日数と割合	ppm			
		日	時間	ppm	ppm	ppm	時間	%	時間	%	日	%	日	%
2018	4	30	710	0.012	0.038	0.020	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	5	31	733	0.011	0.038	0.020	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	6	30	712	0.009	0.034	0.019	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	7	31	735	0.007	0.033	0.018	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	8	31	734	0.007	0.028	0.016	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	9	30	711	0.009	0.032	0.016	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	10	31	731	0.010	0.037	0.019	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	11	30	710	0.013	0.054	0.028	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	12	31	736	0.016	0.065	0.036	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2019	1	31	735	0.016	0.053	0.031	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2	28	663	0.015	0.043	0.025	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	3	31	735	0.013	0.040	0.020	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
年間		365	8645	0.012	0.065	0.036	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

一酸化窒素 NO													窒素酸化物 NOx				
区分	年月	有効測定 日数	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値 の最高値	日平均値の 98%値	測定時間	月平均値	1時間値の 最高値	日平均値の 最高値	ppm		ppm			
		日	時間	ppm	ppm	ppm	ppm	時間	ppm	ppm	ppm	ppm	日	%	日	%	
2018	4	30	710	0.002	0.030	0.006		30	710	0.014	0.061	0.025					
	5	31	733	0.001	0.035	0.006		31	733	0.013	0.060	0.023					
	6	30	712	0.002	0.022	0.007		30	712	0.011	0.056	0.022					
	7	31	735	0.002	0.029	0.008		31	735	0.009	0.038	0.020					
	8	31	734	0.002	0.019	0.005		31	734	0.009	0.035	0.019					
	9	30	711	0.003	0.029	0.008		30	711	0.012	0.050	0.022					
	10	31	731	0.003	0.028	0.008		31	731	0.013	0.060	0.024					
	11	30	710	0.004	0.060	0.014		30	710	0.018	0.090	0.041					
	12	31	736	0.007	0.097	0.032		31	736	0.023	0.138	0.068					
2019	1	31	735	0.008	0.090	0.023		31	735	0.024	0.128	0.054					
	2	28	663	0.005	0.064	0.016		28	663	0.020	0.094	0.037					
	3	31	735	0.003	0.045	0.009		31	735	0.017	0.077	0.028					
年間		365	8645	0.004	0.097	0.032	0.015	365	8645	0.015	0.138	0.068					

【中央局】

大-7

区分		オキシダント Ox													
年月	日	昼間測定 日数	昼間測定 時間	昼間の1時間値 の最高値	ppm	昼間の日最高1時間 値の月平均値	ppm	昼間の平均値	ppm	昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた日数 と時間数	日	時間	日	時間	昼間の1時間値が 0.12ppm以上の日数と 時間数
		日	時間	ppm	ppm	ppm	日	時間	日	時間	日	時間	日	時間	
2018	4	30	436	0.091	0.062	0.047	14	95	0	0					
	5	31	463	0.106	0.064	0.048	16	122	0	0					
	6	30	448	0.112	0.057	0.040	11	76	0	0					
2019	7	31	462	0.117	0.056	0.033	12	64	0	0					
	8	31	463	0.111	0.051	0.031	11	43	0	0					
	9	30	446	0.074	0.047	0.031	10	29	0	0					
年間	10	31	464	0.071	0.052	0.036	5	17	0	0					
	11	30	438	0.062	0.044	0.028	2	5	0	0					
	12	31	460	0.043	0.033	0.022	0	0	0	0					
2019	1	31	461	0.049	0.036	0.024	0	0	0	0					
	2	28	419	0.057	0.041	0.029	0	0	0	0					
	3	31	458	0.074	0.052	0.039	5	20	0	0					
年間	365	5418	0.117	0.050	0.034	86	471	0	0						

【中央局】

大-8

区分		浮遊粒子状物質 SPM																					
年月	日	有効測定 日数	測定時間	月平均値	mg/m ³	1時間値の最高値	mg/m ³	日平均値の最高値	mg/m ³	1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた 時間数とその割合	%	日	時間	日	時間	日平均値が 0.10mg/m ³ を超え た日数とその割合	%	日	時間	日平均値が 0.10mg/m ³ を超え た日が2日以上連続したことの有無	有× 無○	mg/m ³	
		日	時間	mg/m ³	mg/m ³	時間	%	時間	%	時間	%	時間	%	時間	%	時間	%	時間	%	時間	%	時間	%
2018	4	30	719	0.020	0.059	0.037	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	5	28	687	0.015	0.061	0.048	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	6	29	712	0.011	0.039	0.025	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2019	7	31	739	0.016	0.059	0.038	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	8	27	652	0.012	0.067	0.029	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	9	30	716	0.010	0.042	0.025	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2019	10	31	739	0.009	0.033	0.018	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	11	30	719	0.012	0.060	0.031	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	12	31	739	0.011	0.062	0.034	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2019	1	31	743	0.011	0.046	0.022	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2	28	669	0.015	0.073	0.029	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	3	31	742	0.014	0.080	0.026	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
年間	357	8576	0.013	0.080	0.048	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.033

【青山局】

大-9

区分		浮遊粒子状物質 SPM									
年月	有効測定 日数	測定時間 時間	月平均値 mg/m ³	1時間値の最高値 mg/m ³	日平均値の最高値 mg/m ³	1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた 時間数とその割合 時間 %	日平均値が0.10mg/ m ³ を超えた日数とそ の割合 日 %	日平均値が 0.10mg/m ³ を超え た日が2日以上連 続したことの有無 有× 無○	日平均値の 2%除外値 mg/m ³		
										日	時間
2018	4	30	711	0.013	0.057	0	0.0	0	0.0	○	
	5	31	737	0.008	0.055	0	0.0	0	0.0	○	
	6	30	714	0.017	0.048	0	0.0	0	0.0	○	
	7	31	739	0.027	0.082	0	0.0	0	0.0	○	
	8	31	736	0.021	0.063	0	0.0	0	0.0	○	
	9	30	715	0.017	0.051	0	0.0	0	0.0	○	
	10	31	739	0.016	0.057	0	0.0	0	0.0	○	
	11	30	714	0.010	0.051	0	0.0	0	0.0	○	
	12	31	738	0.008	0.051	0	0.0	0	0.0	○	
2019	1	31	740	0.008	0.041	0	0.0	0	0.0	○	
	2	28	668	0.014	0.053	0	0.0	0	0.0	○	
	3	27	665	0.013	0.076	0	0.0	0	0.0	○	
年間	361	8616		0.014	0.082	0	0.0	0	0.0	○	

【天野が原局】

大-10

区分		浮遊粒子状物質 SPM									
年月	有効測定 日数	測定時間 時間	月平均値 mg/m ³	1時間値の最高値 mg/m ³	日平均値の最高値 mg/m ³	1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた 時間数とその割合 時間 %	日平均値が0.10mg/ m ³ を超えた日数とそ の割合 日 %	日平均値が 0.10mg/m ³ を超え た日が2日以上連 続したことの有無 有× 無○	日平均値の 2%除外値 mg/m ³		
										日	時間
2018	4	30	714	0.026	0.067	0	0.0	0	0.0	○	
	5	31	739	0.021	0.063	0	0.0	0	0.0	○	
	6	30	716	0.019	0.050	0	0.0	0	0.0	○	
	7	31	739	0.028	0.070	0	0.0	0	0.0	○	
	8	31	738	0.021	0.065	0	0.0	0	0.0	○	
	9	30	715	0.017	0.044	0	0.0	0	0.0	○	
	10	31	738	0.016	0.051	0	0.0	0	0.0	○	
	11	30	714	0.017	0.065	0	0.0	0	0.0	○	
	12	31	740	0.017	0.064	0	0.0	0	0.0	○	
2019	1	31	740	0.016	0.051	0	0.0	0	0.0	○	
	2	28	667	0.022	0.058	0	0.0	0	0.0	○	
	3	27	668	0.021	0.064	0	0.0	0	0.0	○	
年間	361	8628		0.020	0.070	0	0.0	0	0.0	○	

【天野が原局】

大-11

区分 年月		微小粒子状物質 PM2.5					
		有効測定日数	月平均値 μg/m3	日平均値の最高値 μg/m3	日平均値が35μg/m3を超えた日数とその割合 日 %	日平均値の年間98%値 μg/m3	
2018	4	30	15.9	28.3	0	0.0	
	5	31	14.7	40.7	1	3.2	
	6	30	8.5	23.0	0	0.0	
	7	31	13.0	32.0	0	0.0	
	8	31	9.4	23.4	0	0.0	
	9	30	8.5	19.7	0	0.0	
	10	31	9.8	15.3	0	0.0	
	11	30	10.7	23.3	0	0.0	
	12	31	9.0	23.5	0	0.0	
2019	1	31	9.7	19.9	0	0.0	
	2	28	13.6	25.5	0	0.0	
	3	27	13.2	24.0	0	0.0	
年間		361	11.3	40.7	1	0.3	
						26.9	

【中央局】

大-12

区分 年月		二氧化硫 SO ₂										
		有効測定日数	測定時間 時間	月平均値 ppm	1時間値の最高値 ppm	日平均値の最高値 ppm	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合 時間 %	日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合 日 %	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無 有× 無○	日平均値の2%除外値 ppm		
2018	4	30	719	0.004	0.017	0.009	0	0.0	0	0.0	○	
	5	30	737	0.005	0.018	0.008	0	0.0	0	0.0	○	
	6	30	719	0.004	0.010	0.006	0	0.0	0	0.0	○	
	7	31	742	0.004	0.010	0.007	0	0.0	0	0.0	○	
	8	30	737	0.003	0.007	0.004	0	0.0	0	0.0	○	
	9	30	717	0.002	0.006	0.004	0	0.0	0	0.0	○	
	10	30	738	0.002	0.005	0.003	0	0.0	0	0.0	○	
	11	30	718	0.002	0.006	0.003	0	0.0	0	0.0	○	
	12	31	740	0.002	0.008	0.004	0	0.0	0	0.0	○	
2019	1	31	742	0.002	0.006	0.004	0	0.0	0	0.0	○	
	2	28	669	0.003	0.008	0.005	0	0.0	0	0.0	○	
	3	31	742	0.003	0.007	0.004	0	0.0	0	0.0	○	
年間		362	8720	0.003	0.018	0.009	0	0.0	0	0.0	○	0.007

調査地点	調査月	有効測定日数 (日)	有効測定時間 (時間)	二酸化窒素				
				期間中の 平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値の 最高値 (ppm)	日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下 の日数 (日)	日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 (日)
倉治小学校	6月	7	168	0.008	0.033	0.021	0	0
	9月	7	168	0.012	0.032	0.019	0	0
	12月	7	168	0.016	0.041	0.024	0	0
	2月	7	168	0.014	0.037	0.024	0	0
	全期間	28	672	0.012	0.041	0.024	0	0
総合体育施設	6月	7	168	0.008	0.028	0.017	0	0
	9月	7	168	0.012	0.036	0.020	0	0
	12月	7	168	0.016	0.041	0.020	0	0
	2月	7	168	0.013	0.041	0.025	0	0
	全期間	28	672	0.012	0.041	0.025	0	0
東倉治3丁目	6月	7	168	0.008	0.029	0.017	0	0
	9月	7	168	0.009	0.030	0.015	0	0
	12月	7	168	0.015	0.045	0.020	0	0
	2月	7	168	0.013	0.040	0.021	0	0
	全期間	28	672	0.011	0.045	0.021	0	0

調査地点	調査月	一酸化窒素			窒素酸化物		
		期間中の 平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値の 最高値 (ppm)	期間中の 平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	日平均値の 最高値 (ppm)
倉治小学校	6月	0.001	0.015	0.004	0.009	0.041	0.025
	9月	0.002	0.015	0.002	0.014	0.041	0.021
	12月	0.005	0.063	0.009	0.021	0.091	0.032
	2月	0.004	0.049	0.013	0.017	0.083	0.035
	全期間	0.003	0.063	0.013	0.015	0.091	0.035
総合体育施設	6月	0.001	0.014	0.004	0.010	0.041	0.019
	9月	0.003	0.024	0.006	0.015	0.057	0.026
	12月	0.004	0.037	0.007	0.020	0.070	0.027
	2月	0.004	0.044	0.007	0.017	0.083	0.037
	全期間	0.003	0.044	0.007	0.015	0.083	0.037
東倉治3丁目	6月	0.001	0.013	0.003	0.009	0.037	0.020
	9月	0.002	0.018	0.004	0.011	0.047	0.019
	12月	0.003	0.035	0.005	0.017	0.078	0.025
	2月	0.003	0.067	0.014	0.016	0.097	0.035
	全期間	0.002	0.067	0.014	0.013	0.097	0.035

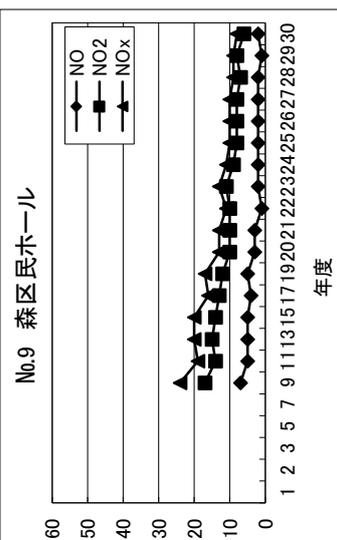
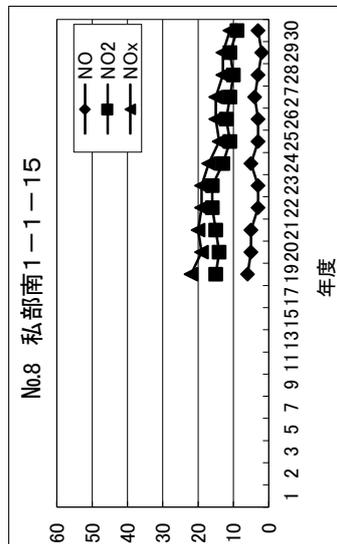
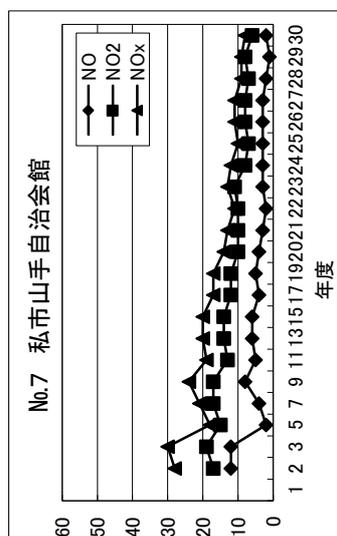
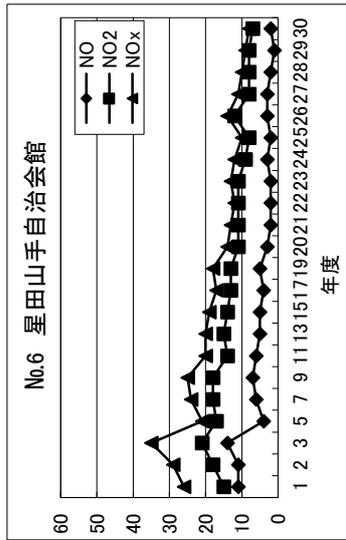
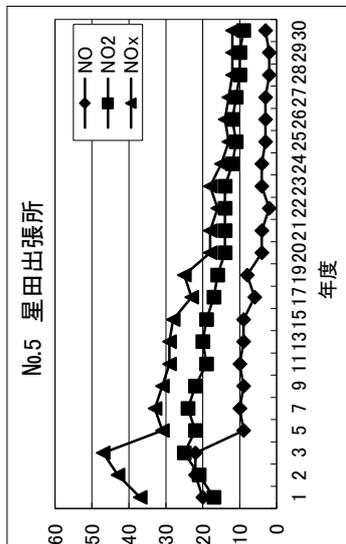
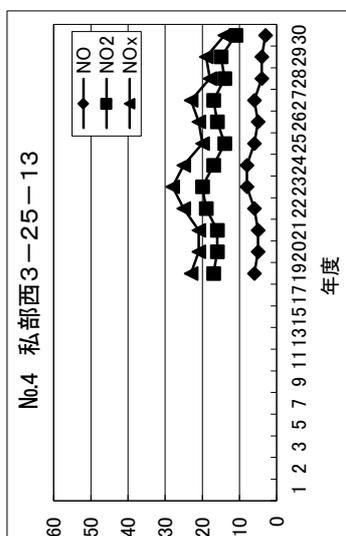
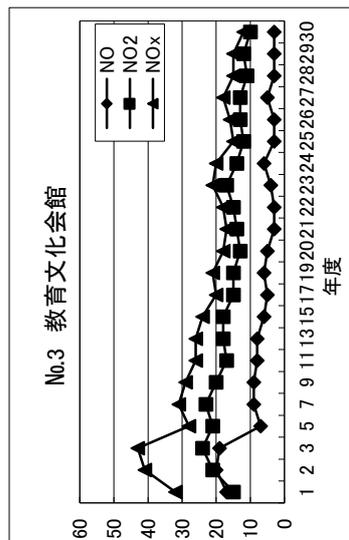
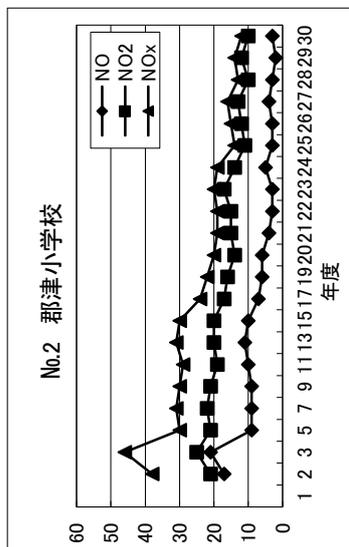
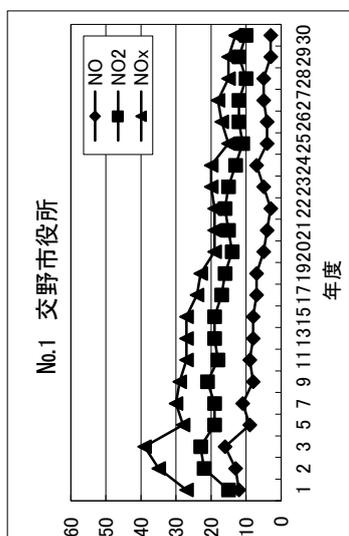
浮遊粒子状物質								
調査地点	調査月	有効 測定日数	有効 測定時間	期間中の 平均値	1時間値の 最高値	日平均値の 最高値	1時間値が 0.20mg/m ³ を 超えた 時間数	日平均値が 0.1mg/m ³ を 超えた日数
		(日)	(時間)	(mg/m ³)	(mg/m ³)	(mg/m ³)	(時間)	(日)
倉治小学校	6月	7	168	0.009	0.019	0.013	0	0
	9月	7	168	0.015	0.036	0.026	0	0
	12月	7	168	0.012	0.030	0.018	0	0
	2月	7	168	0.021	0.037	0.028	0	0
	全期間	28	672	0.014	0.037	0.028	0	0
総合体育施設	6月	7	168	0.008	0.018	0.012	0	0
	9月	7	168	0.015	0.049	0.027	0	0
	12月	7	168	0.011	0.025	0.017	0	0
	2月	7	168	0.022	0.037	0.029	0	0
	全期間	28	672	0.014	0.049	0.029	0	0
東倉治3丁目	6月	7	168	0.009	0.028	0.013	0	0
	9月	7	168	0.014	0.048	0.025	0	0
	12月	7	168	0.012	0.026	0.018	0	0
	2月	7	168	0.021	0.045	0.027	0	0
	全期間	28	672	0.014	0.048	0.027	0	0

平成30年度 窒素酸化物濃度簡易調査結果(補正值) 六一-16
(単位:ppb)

調査期間	地点No. 項目	No.1 交野市役所	No.2 郡津小学校	No.3 教育文化 会館	No.4 私部西 3-25	No.5 星田出張所	No.6 星田山手 自治会館	No.7 私市山手 自治会館	No.8 私部南 1-1	No.9 森区民 ホール	No.10 東倉治 5-2	No.11 向井田 1-45	No.12 星田北 9-3857	No.13 妙見東中央 公園	No.14 天野が原局
第1回 平成30年4月18日 ~4月25日	NO	7	6	5	7	5	5	4	7	7	8	6	7	3	8
	NO2	9	9	9	12	7	5	5	9	5	10	9	13	5	9
	NOx	16	15	15	18	12	11	9	15	12	18	15	19	8	18
第2回 平成30年5月15日 ~5月22日	NO	-	1	1	3	2	2	1	2	2	3	2	5	1	3
	NO2	-	7	8	9	7	5	5	7	5	9	7	12	5	9
	NOx	-	8	9	12	9	7	6	9	7	12	9	17	6	12
第3回 平成30年6月12日 ~6月19日	NO	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	6	1	2
	NO2	5	4	5	5	5	4	3	5	3	7	5	9	3	7
	NOx	6	4	5	7	6	4	4	5	4	10	5	15	4	9
第4回 平成30年7月10日 ~7月17日	NO	3	1	1	1	1	2	1	2	1	3	1	6	1	4
	NO2	7	7	8	8	8	6	5	7	5	8	7	11	5	9
	NOx	10	8	9	9	9	8	6	9	6	11	7	17	7	12
第5回 平成30年8月7日 ~8月14日	NO	2	2	1	3	1	2	1	1	1	2	1	5	1	3
	NO2	5	5	5	5	5	4	4	5	5	7	5	9	4	7
	NOx	7	7	7	8	7	6	4	6	5	9	5	13	4	9
第6回 平成30年9月11日 ~9月18日	NO	2	2	1	1	1	1	1	3	1	3	2	5	1	3
	NO2	6	6	6	9	6	3	3	5	4	10	6	10	3	8
	NOx	8	8	7	9	7	4	4	8	4	13	8	15	4	11
第7回 平成30年10月10日 ~10月17日	NO	2	2	3	1	2	1	1	2	1	3	3	8	1	3
	NO2	8	8	9	9	6	5	5	7	5	10	8	13	5	10
	NOx	9	9	11	9	8	6	6	9	6	13	10	20	6	13
第8回 平成30年11月13日 ~11月20日	NO	3	3	3	3	2	1	1	2	1	3	2	7	1	5
	NO2	11	12	12	13	9	6	6	8	5	11	9	14	6	11
	NOx	13	14	15	15	10	7	7	9	6	13	10	21	7	15
第9回 平成30年12月11日 ~12月18日	NO	4	3	3	3	3	1	2	3	1	5	4	10	1	5
	NO2	14	13	15	16	13	10	9	14	10	14	15	23	10	20
	NOx	17	16	17	18	16	11	11	17	11	18	18	32	10	24
第10回 平成31年1月9日 ~1月16日	NO	6	7	7	7	6	5	3	4	3	8	5	13	3	8
	NO2	19	20	19	18	17	13	12	19	12	17	16	24	12	21
	NOx	24	26	25	27	23	17	15	22	15	25	21	37	14	28
第11回 平成31年2月5日 ~2月12日	NO	3	2	3	3	3	1	1	2	1	3	3	7	1	4
	NO2	16	15	15	16	15	13	11	13	11	16	16	20	10	17
	NOx	17	16	17	19	17	13	12	15	11	19	17	26	11	20
第12回 平成31年3月5日 ~3月12日	NO	3	1	1	2	3	1	1	1	1	9	4	1	5	1
	NO2	11	11	12	11	13	6	6	9	7	10	9	12	6	15
	NOx	13	12	12	12	15	7	7	10	8	20	13	12	11	15
平均値	NO	3	3	3	3	3	2	2	3	2	4	3	7	2	4
	NO2	10	10	10	11	9	7	6	9	6	11	9	14	6	12
	NOx	13	12	12	14	12	8	8	11	8	15	12	20	8	16

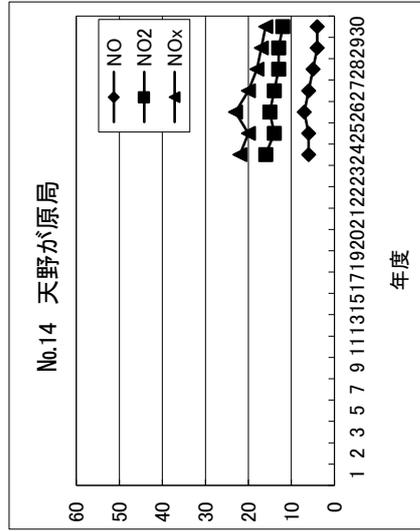
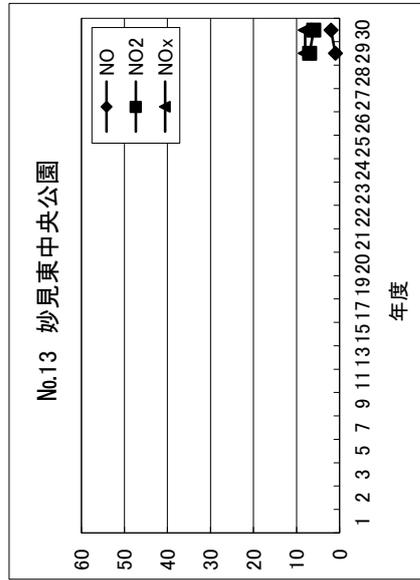
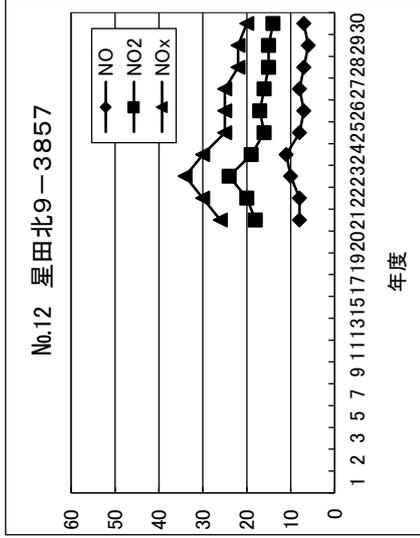
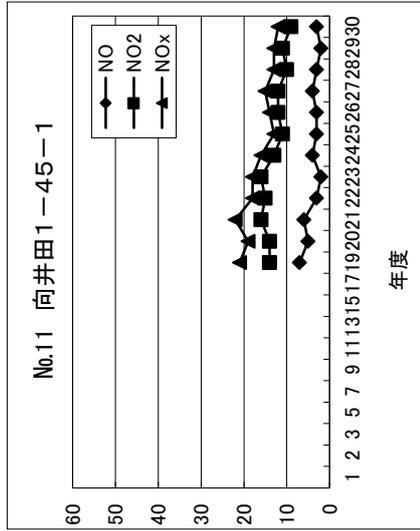
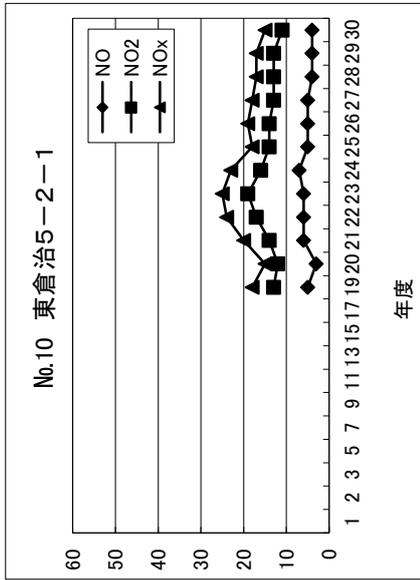
窒素酸化物濃度簡易調査結果経年推移

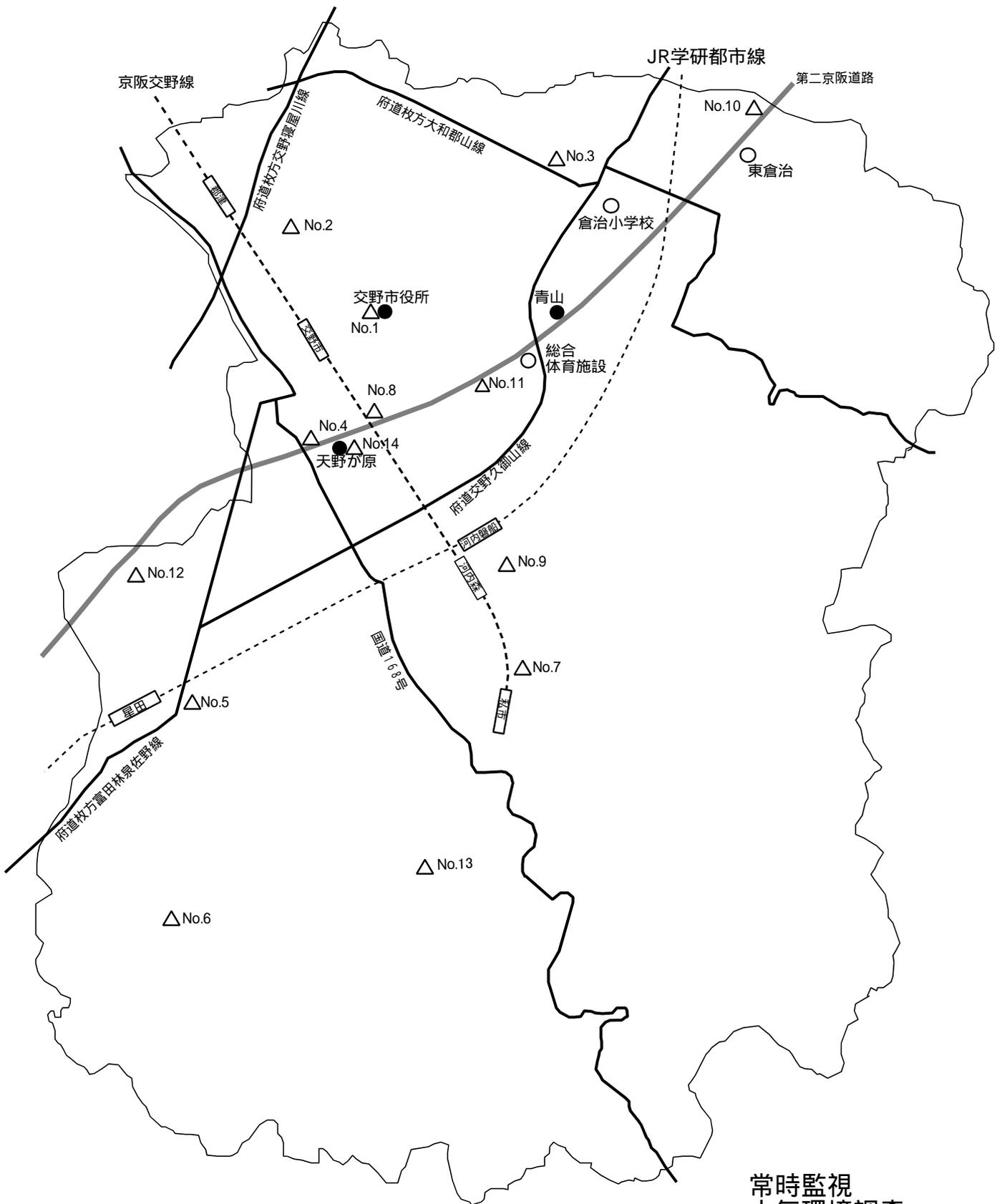
単位:ppb



窒素酸化物濃度簡易調査結果経年推移

単位:ppb





大気環境調査地点

常時監視
大気環境調査
窒素酸化物簡易調査